

令和3年度学習状況調査

中学校第2学年 社会 調査票

( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

1 略地図を見て、あとの(1)～(3)に答えなさい。

略地図 略地図 緯線と経線が直角に交わった地図

調査時にはここに主題図(地図)が入る

(1) 略地図中の経度0度の太線を何というか、書きなさい。

(2) (1)の線上に位置する大陸名をすべて書きなさい。

(3) 東京に住んでいるふゆみさんは、略地図中のニューヨークに住んでいるお兄さんに現地時間の1月1日午後6時に電話でニューヨークの新年の様子を聞こうと思います。東京のふゆみさんは日本時間の何月何日の何時に電話すればよいか、次の【条件】をもとに書きなさい。

【条件】

- A 「ふゆみさんは日本時間の。」に続けて一文で書くこと。
- B ニューヨークの標準時の基準となる経度は西経75度、日本の標準時の基準は東経135度とすること。
- C 解答する際は、日本の日時を、午前または午後を入れて書くこと。  
(ニューヨークではサマータイムは考えないこととする。)

中社-1

2

次の対話文は、アフリカ州についての学習内容をグループで振り返っている場面を表しています。この対話文と資料1～4を見て、あとの(1)～(4)に答えなさい。

はるお：まずはアフリカ州の気候について確認しよう。資料3は、資料1のA～Dの4つの都市の雨温図をあらわしているけど、この中でDの都市のグラフはどれだったかな。  
なつみ：Dの都市は【 ① 】から、ウだと思っわ。  
はるお：そうだね。次にアフリカ州の人口分布について、資料をもとに振り返ってみよう。  
あきお：資料1と資料2を比べてみると【 ② 】の2つの情報が読みとれたよ。  
はるお：次はアフリカ州の言語について、地図帳の統計資料で調べたら、おもな言語として英語を話す国が多かったんだ。  
なつみ：フランス語を話す国も多かったわ。  
はるお：そのことが分かる資料4を見ると、アフリカ州の国は【 ③ 】から、a現在でも英語やフランス語などヨーロッパの言語が使われる国が多いんだよ。  
なつみ：そういえば、アフリカ州では昔から特定の農産物だけを大量に栽培するプランテーション農業が行われていたわね。  
はるお：現在でも、b特定の農産物や鉱産資源の輸出によって経済が成り立っている国が多いのかな。

資料1 アフリカ州の降水量を表した略地図  
調査時にはここに主題図(地図)が入る

資料2 アフリカ州の人口密度を表した略地図  
調査時にはここに主題図(地図)が入る

(1) なつみさんは、資料1のDの都市の雨温図を資料3のウであると予想しました。なつみさんがこのように予想したのはなぜですか。対話文の【 ① 】にあてはまる内容を、資料1と関連づけながら、「赤道」という語句を使って簡潔に書きなさい。

資料3

調査時にはここにAの都市のグラフが入る	イ	調査時にはここにCの都市のグラフが入る	ウ	調査時にはここにDの都市のグラフが入る	エ
---------------------	---	---------------------	---	---------------------	---

中社-2

(2) 資料1と資料2から読みとることができている情報として、対話文の【 ㉔ 】にあてはまるものを下のア～エの中から2つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア Aの都市は、年降水量が2000mm以上で、4つの都市の中で最も人口密度が高いということ
- イ Bの都市は、年降水量が500mm未満で、4つの都市の中で最も人口密度が高いということ
- ウ Cの都市は、年降水量が2000mm以上で、4つの都市の中で最も人口密度が低いということ
- エ Dの都市は、年降水量が500mm未満で、4つの都市の中で最も人口密度が高いということ

(3) 資料4をもとに、下線部aのように判断した理由を、対話文の【 ㉓ 】に簡潔に書きなさい。

(4) 対話文中の下線部bのようなくみそを何と書いて、書きなさい。

資料4 分割されたアリカ州 (1914年)

調査時にはここに主題図  
(地図) が入る

3

資料1～4を見て、あとの(1)～(3)に答えなさい。

資料1 オセアニア州の降水量

調査時にはここに主題図  
(地図) が入る

資料2 パプアニューギニアの自然環境

この国は、オーストラリアの北方、赤道の真南に位置し、ニューギニア島の東半分と大小1万余りの島々からなっている。また、ニューギニア島の中央部は4000m級の高山地帯になっている。  
この国の気候は、モンスーンの影響を受け、ほとんどの場所ですべて5月から11月が乾季で、12月から3月が雨季となっている。

(データブック・オア・サワールD2020)を参考に作成)

(1) 資料1、資料2を参考にして、パプアニューギニアで見られる伝統的な住居を下のア～エの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

ア 調査時にはここに移動式の住居(ゲル)の写真が入る

ウ 調査時にはここに雪の家(イグルー)の写真が入る

エ 調査時にはここに高床の住居の写真が入る

中社-3

(2) 資料3を見て、1961年以前のオーストラリアに暮らすヨーロッパ州からの移民の割合が高い理由について、次の【条件】をもとに書きなさい。

【条件】

- A 「オーストラリアでは、」に続けて書くこと。
- B 「白豪主義」という語を用いること。
- C Bがどのような内容の政策であったか書くこと。

資料3 オーストラリアに暮らす移民の出身州別割合の移り変わり

調査時にはここにグラフが入る

(3) 資料3と資料4の2つの資料から分かることを、下のア～エの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア ヨーロッパ州からの移民の割合が低下するとともに、貿易額も減少している。
- イ ヨーロッパ州からの移民の割合が低下したが、主な貿易相手国は変化していない。
- ウ アジア州からの移民の割合が上昇することともに、貿易額も増加している。
- エ アジア州からの移民の割合が上昇したが、主な貿易額は変化していない。

資料4 オーストラリアの貿易の変化

調査時にはここにグラフが入る


4 資料1と2を見て、あとの(1)～(3)に答えなさい。

(1) 下の文は、資料1中のある島について説明しています。下の文を読んで、①、②に答えなさい。

かつてこの島は、外周約1kmの環礁の中の無人島で、満潮時に大小2つほどの陸が海上に1mほど顔を出すだけになっていました。  
日本政府は、この島に対し、約300億円をかけて護岸工事を行いました。

① 説明に当てはまる島を、A～Dの中から1つ選んで、その記号と島名を書きなさい。  
② 日本政府が護岸工事を行った理由を、「排他的経済水域」という語句を使って、簡潔に書きなさい。

(2) 中部地方は、資料2のように3つの地域に分けることができます。ア、イ、ウの地域の名称を、それぞれ書きなさい。

(3) 資料2のはある海流を表しています。この海流の説明として正しいものを、下のア～エの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア 黒潮 (日本海流) とよばれる暖流である。
- イ 親潮 (千島海流) とよばれる寒流である。
- ウ 対馬海流とよばれる暖流である。
- エ リマン海流とよばれる寒流である。

資料1 日本と周辺の海域

調査時にはここに日本と周辺の海域を表した地図が入る

資料2 中部地方内の地域区分

調査時にはここに中部地方を3つに分けた地図が入る

5 次の資料1と2を見て、あとの(1)と(2)に答えなさい。

(1) 資料1は縄文時代のむらの様子を表したものである。次の①、②に答えなさい。

① 資料1の○で囲まれた部分は、この時代の人々が食べ物や道具の残りがすなど捨てた場所である。このような場所を何というか書きなさい。

② 縄文時代の社会の様子の説明として適切なのものを、次のア～エの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア 古墳の多くは表面に石がしきつめられ、さまざまな形の墳輪が置かれた。
- イ 人々は集団を作って食料が得やすい場所に、たて穴住居に分かれて住んでいた。
- ウ 小さな国ができ、人々を支配する豪族や王が出現した。
- エ 大陸から移り住んだ人々によって、青銅器や鉄器など金属器が伝わった。

(2) 資料2を見て、次の①、②に答えなさい。

① 資料2と同じ時代の道跡として適切なものを、下のア～エの中から2つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア 静岡県 登呂遺跡
- イ 群馬県 岩宿遺跡
- ウ 青森県 三内丸山遺跡
- エ 佐賀県 吉野ヶ里遺跡

② 資料2の頃の東アジアの様子を示している略地図を、下のア～ウの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。



資料1 縄文時代のむら

調査時にはここに縄文時代のむらの様子を表したイラスト(図)が入る

中社-6

中社-5

6 古墳時代と奈良時代の学習について、ある学級でA・B班がそれぞれ発表するためにまとめた資料を見て、あとの(1)～(3)に答えなさい。

<p><b>A班 古墳時代の勢力の広がりについて</b></p> <p><b>資料1</b> 前方後円墳の分布と発見された鉄刀・鉄剣</p> <p>調査時にはここに前方後円墳の分布図と鉄刀と鉄剣の写真が入る</p>
---

(1) A班のこうたくとくとなみなさんは、資料1から気づいたことを話し合いました。2人の会話を参考にして、対話文の[ ]に当てはまる適切な内容を書きなさい。

対話文

<p>こうたくとく：資料1の鉄刀は熊本県の江田輪山古墳から、鉄剣は埼玉県の稲荷山古墳から出土したものだ。</p> <p>なみなさん：2か所の古墳の位置はずいぶんとはなれているわね。</p> <p>こうたくとく：それぞれの古墳から出土した鉄刀と鉄剣にはワカケル大王という名が刻まれているんだ。</p> <p>なみなさん：同じ支配者の名前が刻まれているのね。ワカケル大王とは当時の支配者だったわね。</p> <p>こうたくとく：それと、前方後円墳の分布と関連づけて考えて考えると大和政権の勢力範囲は[ ]が分かるね。</p>	<p style="text-align: center;">[ ]</p>
--	--

中社-7

B班 奈良時代の貴族と一般の人々のくらし	
<p><b>資料2</b></p> <p>○6歳以上の口分田を与えられたすべての人が負担した税</p> <p>租 ……稲 (収穫量の約3%)</p> <p>公出争 ……稲 (50%の利息)</p> <p>○正丁 (21～60歳の男子) が負担した税</p> <p>調 ……絹、糸、真綿、布 (麻布など)、特産物を納めた。</p> <p>庸 ……労役10日のかわりに布 (麻布など) を納めた。</p> <p>○正丁が負担した労役・兵役</p> <p>雑徭 ……年間60日以下の地方での労役を課された。</p> <p>兵役 ……3、4人に一人、食料・武器を自分で負担し訓練を受ける。一部は郡1年か勅人3年の兵役を課された者もいた。</p> <p>※戸籍に登録された6歳以上の人々の中には、逃亡する者も出てきた。</p> <p>※貴族は調、庸の税や兵役は免除された。</p>	<p><b>資料3</b></p> <p>○貴族の人々の食事はお米に加えてアワビなど15品ほどだったが、一般の人々の食事は、玄米を主食に、野菜、山菜などを具にした汁といったとても質素なものだった。</p> <p>○貴族の人々の家は広い宅地にいくつもの建物が建っていたのに対して、一般の人々の家は、貴族の家の周辺部にあり、柱を直接地に埋めて建てた、粗末で小さなものだった。</p> <p>まとめ</p> <p>資料2からは、貴族に比べ、一般の人々の負担する【 ① 】ことが分かった。</p> <p>資料3からは、貴族に比べ、一般の人々の【 ② 】ことが分かった。</p>

(2) B班は、奈良時代の貴族と一般の人々のくらしに関係する資料2、3について調べ、まとめについて考えなさい。【 ① 】, 【 ② 】, 【 ③ 】にあてはまる文を丁寧に書き入れ、まとめを完成させなさい。

(3) A班が調べた古墳時代と、B班が調べた奈良時代について、あてはまる文(ア)～(エ)から1つずつ選んで、その記号を書きなさい。

<p><b>ア</b> 法隆寺の秘伽如来像</p> <p>調査時にはここにアのタイトルの写真が入る</p>	<p><b>イ</b> 武人頭輪</p> <p>調査時にはここにイのタイトルの写真が入る</p>	<p><b>ウ</b> 銅鏡</p> <p>調査時にはここにウのタイトルの写真が入る</p>	<p><b>エ</b> 藤原紫冠五輪冠</p> <p>調査時にはここにエのタイトルの写真が入る</p>
---	--	--	---

中社-8

7 あきこさんは、平安時代から鎌倉時代までの学習内容を歴史新聞にまとめようと、下の資料1のような下書きをつくりました。資料1を見て、あとの(1)～(4)に答えなさい。

資料1 歴史新聞の下書き

794年 平家・鎌倉通信

藤原氏没落の秘密

A

B

D

C

B

C

D

E

- (1) 資料1のAの記事をまとめた内容として適切なのを、下のア～エの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。  
 ア 推古天皇が聖德太子を摂政に任命し、天皇を中心とする政治制度を整えようとした。  
 イ 天智天皇が天智宮に都を移し、初めて全国の戸籍を作るなどして政治改革を進めた。  
 ウ 聖武天皇が仏教の力で国を守るうと、都に東大寺、国ごとに国分寺、国分尼寺を建てた。  
 エ 桓武天皇が都を京都へ移し、国司に対する監督を強めるなどして政治の立て直しを進めた。
- (2) 上の図は、資料1のBの位置にはりつけられます。右の年表を参考に、藤原氏が勢力をのびた理由を、下に示した3語を用いて、簡潔に書きなさい。  
 娘 天皇 子
- (3) 右の年表は、資料1のCの位置にはりつけられます。右の資料2が関係する戦いを、年表中のア～エの中から1つ選んで、記号を書きなさい。
- (4) Dには、鎌倉時代の農業についての記事が入ります。記事として適切なものを、下のア～ウの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。  
 ア 農作業に牛や馬、草や木を焼いた灰が肥料として使われ、二毛作も行われるようになった。  
 イ 鉄製農具の使用により稲の収穫が増えたが、人口が増加し、しだいに口分田が不足した。  
 ウ 肥料に牛馬のふんや糞肥が使用され、農民の結果も強まり、惣という自治組織がつくられた。

資料1 後醍醐天皇

A

調査時にはここにAの人物の写真が入る

B

調査時にはここにBの人物の写真が入る

(1) Aの人物が始めた新しい政治は批判され、社会は混乱しました。この混乱の様子を知るための手がかりとして適切なものを、下のア～ウの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア このごろ都ではやっついているのは、夜襲、強盗、天皇の命、囚人、急使を乗せた早馬、たいしたこともないのに起こる騒動、(中略)下廻りによって成り上がった者が、……  
(三条河原落着)
- イ (領主に納める)材木のことですが、地頭が上京するとか、あるいは近所の労働者とか、あるいは近所の労働者とかいっては、このように入夫として地頭の手で使われるので、ひまがないのです。残りわずかな人を、……  
(阿比留権左衛門尉)
- ウ 領地の買入れや売買は、御家人の生活が苦しくなるものなので、今は禁止する。(中略)御家人以外の武士や庶民が御家人から買った土地については、売買後の年数に関わりなく、返さなければならぬ。  
(永仁の徳政令)

- (2) Bの人物が、明との貿易に右の資料1のような勘合(証明書)を用いた理由を、下に示した2語を用いて、簡潔に書きなさい。  
 勘合 区別
- (3) 右の資料2を参考に、室町時代の社会の様子について述べた文として適切なものを、下のア～エの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア 市の敵が免除され、産と問所が廃止されたことにより、商工業者による自由な経済活動が行われた。
- イ 都の奈良と地方を結ぶ街道に駅が設けられ、国司などのために乗りつき用の馬が用意された。
- ウ 商業の発達とともに物資の流通が活発になり、間と呼ばれる運送業者が活躍した。
- エ 平城京の中に東市と西市が設けられ、各地から都に送られてきた産物などが売買された。